



Kath Hardman (UK)



私は1996年にドッグダンスが誕生した時からこのスポーツに関わってきました。
最初の2年間は観客として、そして競技は、準備が整ってすぐ、1999年から参加し始めました。

私は審査員でもあり、おそらく競技するのと同じくらい審査もしています。
審査をし始めたのは2000年で、2005年、2012年、さらに2020年に Crufts の審査員として招かれたことを光栄に思っています。私は英国のほとんどの競技会で審査をしていますが、英国では審査員であってもこれらの競技会に参加できるので助かっています。
また、2014年のフィンランドにおける FCI ワールド・ドッグショー、2012年のチェコ共和国における OEC (Open European Championship) など、ヨーロッパにおいても審査する機会をたくさんいただいています。さらに、オーストラリア、日本、米国のチャンピオンシップも審査しました。

Kennel Club (KC) のドッグダンス運営委員会では、その創設の着想の段階からメンバーとして活動しているだけでなく、KC の審査員サブグループにおけるドッグダンス代表を12年間務めました。私たちメンバーは年に2度集まり、3度目に集まる際には KC 認定のトレーナーも同席します。

KC の仕事のおかげでいつも忙しいですが、KC が認定するドッグダンス競技会を15年に渡って、その規程および開催に関わることを本当に楽しんでいます。

ドッグダンスでは、これまで素晴らしいシープドッグや特別なミックス犬に恵まれ、現在はボーダーコリー2頭とハンガリアン・プーミー1頭を飼っています。





最初の”ドッグダンス犬”5頭が HTM とフリースタイル両方ともアドバンスクラスで競技し、いい成績をおさめたことを誇りに思っています。



ミックス犬、スパイスが、2008年に英国代表として Crufts に参加し、インターナショナルフリースタイルのファイナルで優勝したことは大きな喜びでした。一番年上のボーダーコリー、アンバーは、23ヶ月で Crufts に出場し、この最年少記録は未だに破られていません。アンバーとは、2010年に行われた最初の FCI Dog Dance World Championship で優勝し、最初の FCI ドッグダンス公式世界チャンピオンになりました。

また、同大会では、英国チームがチーム戦でも優勝し、2個目の金メダルを獲得しました。

2017年には、英国が HTM とフリースタイルの両方でチーム優勝を飾り、これはこのスポーツ史上初のことでした。

私は英国チームのメンバーに毎年選出されており、一度は3頭の犬が同時にチームに選出されたこともあります。また英国のチームマネジャーを5度任されたことは光栄なことでした。

ドッグダンスに関わる以外に、KC のオビディエンスにも久しぶりに戻ってきました。

ドッグダンスとオビディエンスの両方で競技することは私と犬にとって良いと思っています。競技の分野は似ているようで大変異なります。私が主に熱中しているのは HTM とフリースタイルです。これらには最も大変な作業を要しますが、それによって培われる犬との関係はかけがえのないもので、私の20年の経験を他の皆さんと分かち合うことを嬉しく思っています。

